

Panasonic®

- 本機を増設できる機種(P.2)
- お使いいただくには、充電と親機への登録(増設)が必要です。(P.10、11)

取扱説明書

ワイヤレスモニター子機 ドアホン専用

品番 ブイエル タブリューティー
VL-WD613



Ni-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルに
ご協力ください。



(本書の表記：本機または子機)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>



※このサービスは
WEB 限定の
サービスです。

保証書
別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

確認と
準備

通話/
モニター

録画/
再生

くらし
モード

他機器
との連携

その他の
機能
や設定

必要な
とき

困った
とき

はじめに

本機は、パナソニック製の「テレビドアホン」の増設用子機です。

本機を増設できる機種(2015年9月現在)

対応の機種は追加になることがあります。

■ テレビドアホン

〈200シリーズ〉

VL-SWD200K

〈300/301シリーズ〉

VL-SVD300KL/SWD300KL

VL-SVD301KL/SWD301KL

〈302/303シリーズ〉

VL-SVD302KL/SWD302KL

VL-SVD303KL/SWD303KL

〈501シリーズ〉

VL-SVD501KL/SWD501KL

VL-SVD501KS/SWD501KS

付属品・添付品について

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■ 付属品

- | | | |
|--------------------------------|-------|----|
| <input type="checkbox"/> 充電台 | | 1台 |
| <input type="checkbox"/> 電池パック | | 1個 |

■ 添付品

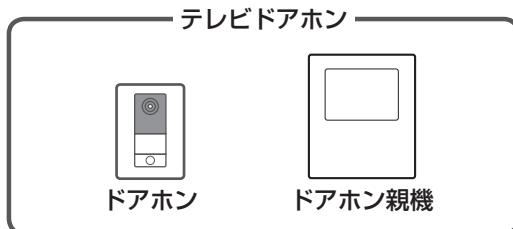
- | | | |
|---|-------|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> 取扱説明書(本書) | | 1冊 |
| <input type="checkbox"/> 保証書 | | 1式 |



- 電源プラグキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理をしてください。

本書の表記について

- テレビドアホンの各機器の名称を、それぞれ下記のように表記しています。



- 本書の説明は、本機を「501シリーズ」のドアホン親機に増設した状態を例に記載しています。
- 本機で利用できる機能はドアホン親機によって変わるために、本書に記載した機能の一部が使えなかったり、操作や画面表示が本書の記載と異なる場合があります。
ご使用のテレビドアホンの取扱説明書と合わせてお読みください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。
実際とは異なる場合があります。

もくじ

確認と準備

安全上のご注意	4
使用上のお願い	6
各部のなまえとはたらき	8
子機を設置・充電する	10
ドアホン親機に登録する(増設)	11

通話／モニター

来客の呼び出しに応答する	12
ドアホン側の様子を見る(モニター)	12
室内の相手を呼び出す(室内呼)	13
ドアホン通話を転送する	13

録画／再生

ドアホンのモニター映像を手動で録画する	14
録画を再生する	14
再生音量や画面の明るさを変える	15
画像を保護する	15
画像を消去する	15

くらしモード

くらしモードを切り替える	16
--------------------	----

他機器との連携

カメラとの連携について	16
カメラ側の様子を見る(モニター)	16
カメラのセンサーが反応したとき	17
カメラからお知らせ音を鳴らす	17
カメラのセンサー検知を休止する	17
カメラのモニター映像を手動で録画する	17

窓/ドアセンサーとの連携について	18
窓/ドアの開閉状態を確認する (センサー情報を見る)	18
窓/ドアが開いたとき (報知レベルによる通知動作の違い)	18

警報器やコール機器と連携して使う	19
警報通知やコール通知について	19

電気錠やエアコンなどと連携して使う	20
電気錠やエアコンなどの機器を操作する	20

その他の機能や設定

通話中・モニター中の別の呼び出し	20
表示に関する機能や設定	21
映像表示中にワイド/ズーム、 パン・チルトする	21
ドアホンの照明をON/OFFする	21
ドアホンの逆光補正をする	21
画面の明るさを変える	21
音に関する機能や設定	22
呼出音量を変える	22
呼出音の種類を変える (ドアホン・カメラ)	22
室内側の受話音量を変える (ドアホン・カメラ)	22
ドアホン通話で 自分の声をボイスチェンジする	22
子機の機能設定(設定方法と設定一覧)	23

必要なとき

仕様	24
別売品	24

困ったとき

困ったとき	25
こんな表示が出たら	27
保証とアフターサービス	28
さくいん	30

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ
が大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれ
がある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の
損害が発生するおそれがあ
る内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



〈電池パックについて〉

液もれ・発熱・破裂を防ぐために



- 分解・改造しない

- 指定の電池パック以外は使用
しない

- 付属の電池パックを、この機器
以外に使用しない

- 火の中に捨てたり加熱しない

- 端子を金属などに接触させない

- ネックレス、ヘアピンなどと
一緒に持ち運んだり保管しない

- 専用の充電台を使用して指定の
電池パックを充電する



事故を防ぐために



- 液もれしたとき、“液”に触
れたり目に入れない

(目に入ると、失明の原因)

→目に入ったら、こすらず、すぐに
きれいな水で洗ったあと、直ちに
医師の治療を受けてください。

禁止



警告

火災・感電などを防ぐために



禁止

- 分解・修理・改造しない

→修理は販売店へご相談ください。

- ぬれた手で、電源プラグの抜き
差しはしない

- 雷が鳴ったら、充電台・電源プ
ラグに触れない

- 電源コード・電源プラグを破損
するようなことはしない

・傷つける、加工する、熱器具に近づ
ける、コードに過度なストレスを加
える(無理に曲げる、ねじる、引っ張
る、重いものを載せる、束ねるなど)
(傷んだまま使用すると、感電・
ショート・火災の原因)
→修理は販売店へご相談ください。

- コンセントや配線器具の定格を
超える使いかたや、AC100V
以外での使用はしない

(たとえ配線などで、定格を超える
と、発熱による火災の原因)

- 機器内部に金属物を入れない

→金属物が入った場合は、すぐに
電源プラグを抜く、または電源
ブレーカーを切って販売店へご
相談ください。

- 機器(子機用充電台や電源
コードを含む)に水をかけたり、
ぬらしたりしない

→ぬれた場合は、すぐに電源プラ
グを抜く、または電源ブレー
カーや切って販売店へご相談く
ださい。

- 本機を電子レンジに入れたり、
電磁調理機器などに置いたり
しない



- 電源プラグは根元まで確実に
差し込む

(差し込みが不完全だと、感電や発
熱による火災の原因)

→傷んだプラグ・ゆるんだコンセ
ントは使用しないでください。



警告

火災・感電などを防ぐために



■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)

→電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く

(そのまま使用すると、火災や感電の原因)

→使用を中止し、販売店へご相談ください。

■電源プラグを抜くときは、プラグ本体(金属でない部分)を持って抜く

(コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因)

事故などを防ぐために



禁止

■医療機器の近くでの設置や使用をしない※¹

- 手術室、集中治療室、CCU(冠状動脈疾患監視病室の略称)などには持ち込まない

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※¹

(※1 本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)

■心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以上離す

(本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり)



注意

火災・感電などを防ぐために



禁止

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない



禁止

事故・けが・財産の損害などを防ぐために

■不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

(落下による破損やけがの原因)

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)

■子機用充電台にコインや指輪などの金属物を載せない

(金属物が熱くなり、やけどの原因)

■子機用充電台に磁気に弱いもの(キャッシュカード、通帳など)を近づけない

(子機用充電台からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります)



■子機を壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

(落下による、破損やけがの原因)

→石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

使用上のお願い

こんなところに設置しない

- 火気・熱器具の近く(変形や故障の原因)
- 直射日光の当たるところ・冷暖房機の近く(誤動作・変形・故障の原因)
- 温度変化が激しいところ(結露による誤動作の原因)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン(インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近く(ノイズ発生の原因)
- CSデジタル放送受信機器(チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど)の近く(CSデジタル放送の画像が乱れる原因)

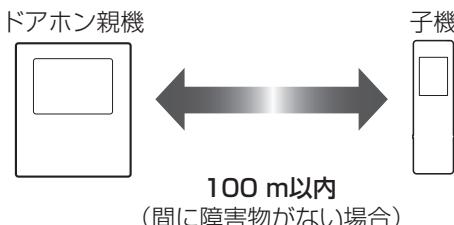
電源プラグを差し込む位置は…

電源プラグは、各機器の設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしてください。

充電台は…

- AMラジオの近くに置かないでください。(AMラジオで雑音が聞こえる原因)
- テレビ、スピーカーなど、電磁波や磁力を出すものの近くに置かないでください。(充電できないことがあります)

使用可能距離は…



- 子機での通話について
 - ・デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
 - ・補聴器を使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

ドアホン親機・子機間の通信について

- 距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなります。(子機では、ブツブツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示が窓外となつて使えないことがあります)
 - ・金属製のドアや雨戸
 - ・アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - ・コンクリートやトタン製の壁
 - ・複層ガラスの窓
 - ・壁を何枚もへだてたところ
 - ・各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき

電波について

- 本機は、1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備です。
本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

- J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。
J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。
同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- 本機の使用周波数に関するご注意
本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ドアホン親機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(P.28、裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(P.28、裏表紙)へお問い合わせください。

修理・譲渡・廃棄・返却するとき

〈本機の修理を依頼するとき〉

本機の修理を依頼される場合、設定内容が変化またはお買い上げの状態に戻ることがありますので、あらかじめご了承ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

P.23「設定の初期化」をしてください。

(初期化すると、設定内容がお買い上げの状態に戻ります)

お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。

- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

〈本体を拭くとき〉

誤操作防止のため、電池パックを抜いてください。

〈電源プラグや充電台を拭くとき〉

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

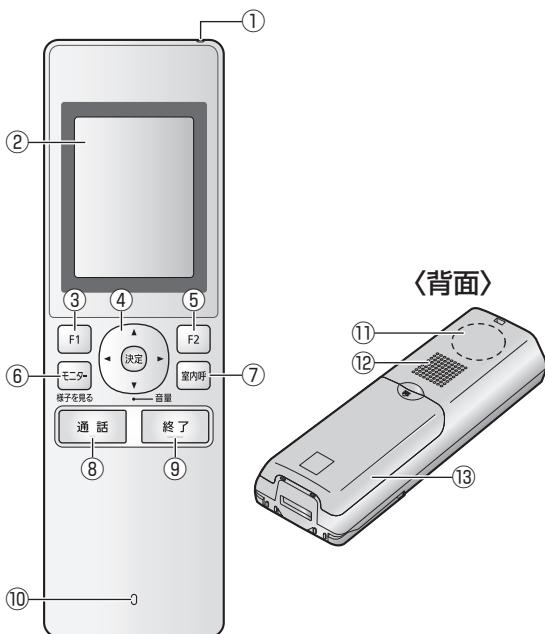
お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。
(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)

各部のなまえとはたらき



①充電ランプ(P.10)

②液晶ディスプレイ

③【F1】ボタン

④マルチファンクションキー
【▼】【▲】【◀】【▶】【決定】

項目の選択や決定、音量調整(【▼】【▲】)などが
できます。

⑤【F2】ボタン

⑥【モニター】ボタン・ランプ(赤)

ドアホンやカメラ側の様子を確認できます。

(P.12、16)

ランプは、カメラからの着信中に点滅、ドアホン
やカメラをモニター中は点灯します。

⑦【室内呼】ボタン

室内の相手(ドアホン親機など)を呼び出します。
(P.13)

⑧【通話】ボタン・ランプ(青)

ランプは、ドアホンからの着信中や室内呼の着
信中に点滅、通話中は点灯します。

⑨【終了】ボタン

⑩マイク(送話口)

⑪アンテナ部(内蔵)

使用中、手で覆わないでください。
(電波の状態が悪くなります)

⑫スピーカー

⑬電池カバー

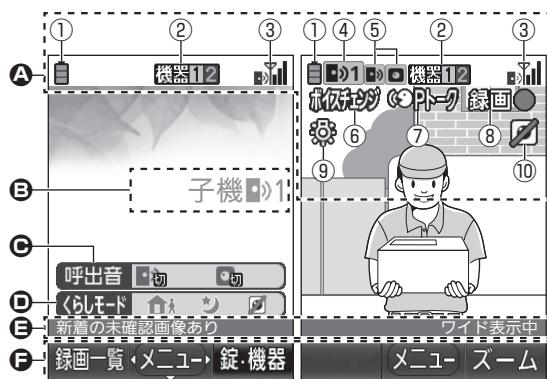
■【F1】【決定】【F2】ボタンについて

画面点灯時は、画面下部に表示される機能
(右上の⑩)の操作に使います。

子機の画面について

■トップ画面

■映像表示画面



Ⓐ現在の状態をアイコンなどで表示します。

番号	意味
①	電池残量の目安(P.10)
②	電気錠やエアコンなどの状態(P.20) 機器① : 緑点灯時: 施錠中またはON 消灯時: 解錠中またはOFF
③	③: ドアホン親機からの電波状態 電波状態表示 強い 弱い 圏外 この範囲でご使用ください ● 電波が弱いときや圏外のときはドアホン親機に近づけてください。
④	表示映像の撮影機器 ①～②: ドアホン1～2 ③～④: カメラ1～4
⑤	通話中・モニター中などに、新たに着信した 機器(P.20)(アイコンはピンク色で表示) ①: ドアホン1～2のいずれか ②: カメラ1～4のいずれか
⑥	ドアホン通話のボイスチェンジ中(P.22)
⑦	プレストーク通話中(P.12)
⑧	録画中
⑨	ドアホンの照明が「ON」(P.21)
⑩	カメラのセンサー検知が休止中(P.17)

③ドアホン親機に対する子機番号(例: 1)を表示します。

④呼出音量が「切」のものを表示します。

切 : ドアホンの呼出音量が「切」

切 : カメラの呼出音量が「切」

⑤くらしモードの設定状態を表示します。(P.16)

: 「夜間」モード

: 「外出」モード

: カメラ(センサー検知)が休止中

⑥お知らせしたい内容、現在の状態説明、操作案内などを表示します。

⑦操作場面ごとに有効な機能を表示します。

- 各機能は、それぞれ画面下の3つのボタン **[F1]**【決定】**[F2]**で操作します。

操作時のボタン表記例: **[F1]** (録画一覧)

【決定】 (メニュー)

[F2] (錠・機器)

- で表示される▲は、マルチファンクションキー **【▼】****【▲】****【◀】****【▶】**で操作できる向きを表します。

子機の横画面表示について

横画面表示にすると、縦画面では見えない映像の両端まで見ることができます。

アイコンなども消えるので、映像全体が見やすくなります。



■ 横画面表示にするには

映像表示中に、**[F1]** (横表示) を押す

- 元に戻すには、再度**[F1]**を押してください。
- P.23「画面の横表示」設定を「左手用」に変えると、上図と逆向きに画面を回転できます。
- 録画の画像再生では、この機能は使えません。

お知らせ

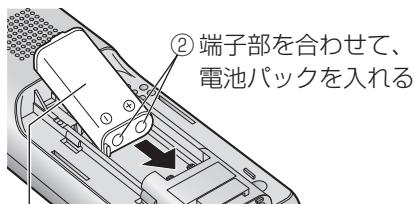
- 横画面表示中、**[F1]****[F2]** やマルチファンクションキー (P.8) で操作する機能は使えません。縦画面に戻してから操作してください。

子機を設置・充電する

本機を初めて使うときは、約15分間充電してからP.11の登録操作を行い、登録完了後に再度、充電台に置いて充電を完了させてください。

電池パックの取り付けと充電

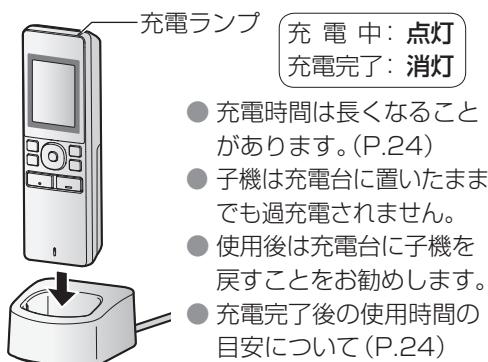
1 電池パックを入れる



フィルムをはがさないでください。

③ 電池カバーを元のよう閉める

2 電源コンセント(AC100V)に接続した充電台に子機を置き、約10時間充電する



■ 電池残量の目安

多い	中くらい	少ない	充電が必要

お願い

- 1週間以上、子機を充電台から外したり、電源プラグを抜くときは、電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため電池パックを外してください。(次に使うときは充電してください。)

電池パックの交換について

電池パックは消耗品です。約10時間充電しても通話数分後に電池残量表示()が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。

- 交換の際は、別売品「KX-FAN55」(P.24)をお使いください(仕様:ニッケル水素電池、DC 2.4 V、650 mAh)

- 古い電池パックはリサイクルに…



Ni-MH

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープをはるかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
 - ・製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
 - ・一般社団法人JBRC および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

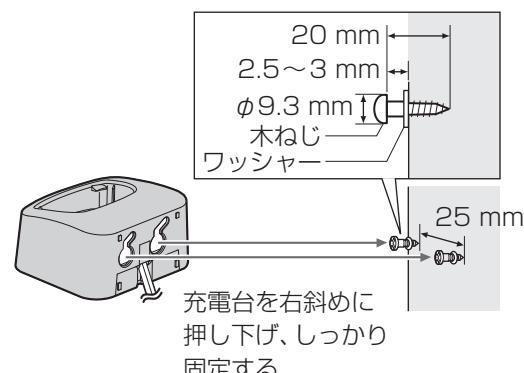
一般社団法人JBRC のホームページ
<http://www.jbrc.com>

- リサイクル時のお願い

- ・電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。
- ・外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
- ・電池パックを分解しないでください。

子機を壁(柱)掛けするには

別売品の壁掛け用木ねじ・ワッシャー(P.24)を使うと下記のように壁掛けできます。壁掛け時の注意(P.5)をよくお読みのうえ、取り付けてください。



ドアホン親機に登録する (増設)

ドアホン親機の操作はテレビドアホン「501シリーズ」の例です。その他の機器に登録する場合は、ご使用のテレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

ドアホン親機の操作(例:501シリーズ)

- 1 トップメニューの「設定/情報」→「設定を変更」→「登録／減設」→「登録」→「子機」→増設する子機の名前→増設する子機番号をタッチする

- 続けて約2分以内に子機で下記の操作を行ってください。

子機の操作

- 2 画面点灯時に「増設してください」と表示されたら、【F2】(増設)を押す
- 3 【決定】(登録)を押す

- 登録が終わったら
ドアホン親機の【終了】を押す

お知らせ

- 減設(登録解除)はドアホン親機で行います。
減設が必要になったときは、テレビドアホンの取扱説明書をお読みください。
- 減設した子機を再登録するとき
①ドアホン親機で登録操作をする
②子機で下記の操作をする
　　トップ画面で【決定】(メニュー)を押す→
　　【▼】【▲】で「子機増設」を選び、【決定】を
　　押す→【決定】(登録)を押す

来客の呼び出しに応答する

ドアホンの呼出ボタンが押されると呼出音が鳴り、相手の映像が映ります。応答すると、最大約2分間、通話ができます。

1 呼出音が鳴ったら、【通話】を押し、相手と話す

2 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- 着信（ドアホンからの呼び出し）は約30秒です。
- 通話時は、マイクから約50cm以内で相手と交互に話してください。同時に話すと声が途切れます。

周囲が騒がしく話しにくいとき (プレストーク通話)

送話と受話を手動で切り替える通話方式です。自分や相手の周囲が騒がしいときでも、声が伝わりやすくなります。

1 通話中、「ピッ」と鳴るまで【通話】を約2秒間押す

- が表示され、プレストーク通話に切り替わります。

2 相手と話す

■ 話すとき(送話)

【通話】を押したまま話す（押している間、相手の声は聞こえません）

■ 聞くとき(受話)

【通話】から指を離す（こちらの声は相手に聞こえません）

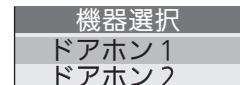
ドアホン側の様子を見る (モニター)

ドアホン側（玄関）の様子を、映像と音で最大約3分間確認できます。

- モニター中、室内の声はドアホン側には聞こえません。

1 【モニター】を押す

- 下の画面が出たときは
【▼】【▲】でモニターしたいドアホンを選び、【決定】を押す



2 モニター先の映像と音声を確認する

3 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- モニター中に、【通話】を押して相手に話しかけることもできます。

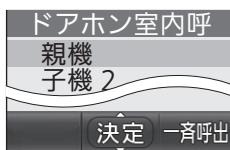
室内の相手を呼び出す (室内呼)

相手を呼び出すとき

1 【室内呼】を押す

■ 下の画面が出たときは

- 【▼】【▲】で相手を選び、【決定】を押す
- 【F2】(一斉呼出)を押して、すべての相手を呼び出すこともできます。



2 「プー」音に続けて相手に呼びかける

- 相手が出たら、通話もできます。

3 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- 室内呼び出しは約30秒、室内通話は最大約60秒です。

呼び出しに応答するとき

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、 【通話】を押して話す

ドアホン通話を転送する

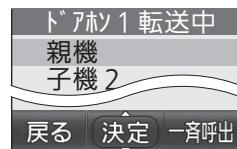
ドアホン通話中に、別の部屋にいる相手を呼び出し、通話を転送できます。

転送するとき

1 ドアホン通話中に【室内呼】を押す

■ 下の画面が出たときは

- 【▼】【▲】で相手を選び、【決定】を押す
- 【F2】(一斉呼出)を押して、すべての相手を呼び出すこともできます。



2 「プー」音に続けて相手に呼びかける

- 相手が出ないとき、ドアホン通話に戻るには、【通話】を押す

3 相手が出たら、通話を転送することを 伝え、【終了】を押す

- 室内通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できます。

お知らせ

- 室内通話中の音声は、ドアホン側には聞こえません。

転送を受けるとき

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、 【通話】を押し、転送元の相手と話す

2 転送元との室内通話が終了してドアホンの映像が映ったら、ドアホン側の相手と 話す

ドアホンのモニター映像を手動で録画する

下記の操作で、モニター中のドアホンの映像を録画できます。

- 録画した内容はすべて、ドアホン親機側に記録されます。
- 録画機能の詳細は、テレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

1 モニター映像を表示中に、 【決定】(メニュー)を押す

2 【▼】【▲】で「録画」を選び、【決定】を 押す

- 録画中は、画面に「録画●」と表示されます。

お知らせ

- 子機で手動録画する場合、録画操作を行ってから録画されるまでに時間差が生じます。このため、操作時の映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

録画を再生する

ドアホン親機に記録されている画像を、子機でも再生できます。

1 トップ画面で【F1】(録画一覧)を押す

- 録画一覧画面が表示されます。

ドアホン録画一覧		
10/ 6(日)	3件	
10/ 7(月)	1件	
10/ 8(火)	2件	
10/ 9(水)	1件	
未	10/10(木)	3件
未	10/11(金)	
10/12(土)		
		決定 カメラ

- 【F2】(カメラ)を押すと、カメラの録画一覧に切り替わります。

2 【▼】【▲】で録画を見たい日付を選び、 【決定】を押す

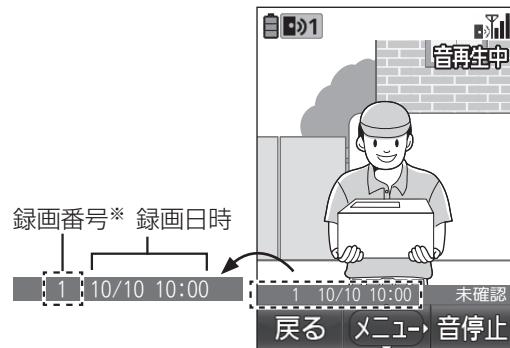
10/10 (木)
3件

3 【決定】を押す

- 選んだ日付の中で、最も古い画像が表示されます。

■ 1件の画像の内容を1コマずつ見るには
【▶】を押す(押すごとに1コマずつ表示)

■ 画像が複数件あるとき、次の画像を見るには
【▼】を押す(押すごとに日時の古い画像から新しい画像を表示)



※画像をコマ送りすると、録画番号の後ろにコマ番号を表示します。
(例:「1-5」→5コマ目を表示中)

4 終わったら、【終了】を押す

■ 録画一覧画面のボタンについて

ボタン	はたらき
【F2】(カメラ)	カメラの録画一覧へ
【F2】(ドアホン)	ドアホンの録画一覧へ

■ 画像再生中のボタンについて

ボタン	はたらき
【F1】(戻る)	録画一覧画面へ
【決定】(メニュー)	下記の設定メニューを表示 ・保護や消去、再生音量や明るさの設定
【F2】(音再生)※1	音声の再生/ 停止中の音声の聞き直し
【F2】(音停止)※1	音声の停止
【◀】【▶】	1件の画像内のコマ送り (前のコマへ/次のコマへ)
【▼】【▲】	画像の件送り (前の件へ/次の件へ)

※1 音声付き画像の場合のみ

■ 録画一覧や画像再生中のアイコンについて

アイコン	意味
未	未確認画像あり
□1	撮影機器(左の例はドアホン1)
●1	撮影機器(左の例はカメラ1)
音再生中	音声の再生中
音停止中	音声の停止中
未確認	未確認画像
保護	保護設定した画像

再生音量や画面の明るさを変える

- 1 画像再生中に【決定】(メニュー)を押す
- 2 【▼】【▲】で変更する項目(音量/明るさ)を選び、【決定】を押す

■「音量」※1を選んだとき
【▼】【▲】で音量を変更する

■「明るさ」を選んだとき
【◀】【▶】で明るさを変更する

※1 音声付き画像の場合のみ設定できます。

画像を保護する

- 1 画像再生中に【決定】(メニュー)を押す
- 2 【▼】【▲】で「保護」を選び、【決定】を押す

保護解除するとき

- 1 保護画像を再生中に【決定】(メニュー)を押す
- 2 【▼】【▲】で「保護解除」を選び、【決定】を押す

画像を消去する

再生中の画像のみ消去できます。

- 1 画像再生中に【決定】(メニュー)を押す
- 2 【▼】【▲】で「一件消去」を選び、【決定】を押す
- 3 【F1】(はい)を押す

くらしモードを切り替える

子機では、くらしモードの切り替え操作のみを行うことができます。

- 各モードの動作やくらしモードの詳細設定など、くらしモードの詳細についてはテレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

- 1 トップ画面で【決定】(メニュー)を押し、
【◀】【▶】で「ドアホン」メニューを開く
- 2 【▼】【▲】で「くらしモード」を選び、
【決定】を押す
- 3 【▼】【▲】でモードを選び、【決定】を押す
- 4 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- 現在の設定状態によっては、モードの切り替え時にメッセージが表示されることがあります。このときは、メッセージに従って操作してください。

カメラとの連携について

ドアホン親機がカメラと連携しているときは、子機でもカメラ側の様子をモニターしたり、カメラのセンサーが反応したときにカメラからの通知(呼出音と映像)を受けることができます。

- 機能の詳細はテレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

カメラ側の様子を見る(モニター)

カメラ側の様子(映像)を最大約3分間確認できます。

- モニター中、室内の声はカメラ側には聞こえません。

- 1 【モニター】を押し、【▼】【▲】でモニターしたいカメラを選び、【決定】を押す
- 2 表示された映像を確認する
 - カメラ側の相手に話しかけるには
【通話】を押す
- 3 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- カメラ映像を表示中、必要に応じてカメラから音を鳴らし、カメラ側の相手にお知らせすることもできます。(P.17)
- ご使用のカメラによっては、モニター中にカメラ側の音声も聞くことができます。

カメラのセンサーが反応したとき

- 1 センサーが反応すると、呼出音が鳴り、カメラの映像が映る
 - 映像は約30秒で終了します。

■次の場合は【モニター】を押す

- 映像をもっと見たいとき
- 集音機能があるカメラをご使用で、カメラ側の音声も聞きたいとき

お知らせ

- センサーが反応しても、呼出音を鳴らさないようにしたいときは
 - ・カメラの「呼出音量」を「切」にする(P.22)
 - ・くらしモードを「夜間」に切り替える(P.16)
- カメラ映像を表示中、必要に応じてカメラから音を鳴らし、カメラ側の相手にお知らせすることもできます。(下記)

カメラからお知らせ音を鳴らす

- カメラ映像を表示中、カメラから音を鳴らし、カメラ側の相手にお知らせすることができます。
- お知らせ音の種類や音量は、ドアホン親機で設定できます。

1 着信中などカメラ映像を表示中に
【決定】(メニュー)を押す

2 【▼】【▲】で「お知らせ音」を選び、
【決定】を押す

カメラのセンサー検知を休止する

カメラの設置場所で作業をする場合など、センサー検知を一定時間休止することができます。

- 休止中は、室内への通知(呼出音、映像表示)や自動録画もされません。
- 複数のカメラがある場合、一斉に休止します。
- 「くらしモード」を「外出」にしているときは、センサー検知を休止できません。
- センサー検知の休止は、設定時間を過ぎると自動で解除されますが、休止時間内に解除することもできます。

1 トップ画面で【決定】(メニュー)を押し、
【◀】【▶】で「ドアホン」メニューを開く

2 【▼】【▲】で「くらしモード」を選び、
【決定】を押す

- くらしモード画面が表示されます。

3 【F2】(カメラ休止)を押す

4 【▼】【▲】で休止時間 выби, 【決定】を
押す

5 終わったら、【終了】を押す

■休止時間内に設定を解除するには

上記手順3で、【F2】(カメラ入)を押す

カメラのモニター映像を 手動で録画する

ドアホン親機にSDカードが挿入されているときは、下記の操作で、モニター中のカメラの映像をドアホン親機のSDカードに録画できます。

- ご使用のカメラによっては、映像とともにカメラ側の音声も録音されます。録画機能の詳細は、テレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

1 モニター映像を表示中に
【決定】(メニュー)を押す

2 【▼】【▲】で「録画」を選び、
【決定】を押す

- 録画中は、画面に「録画●」と表示されます。

お知らせ

- 子機で手動録画する場合、録画操作を行ってから録画されるまでに時間差が生じます。このため、操作時の映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

窓/ドアセンサーとの連携について

ドアホン親機が窓/ドアセンサーと連携しているときは、子機で窓/ドアの開閉状態を確認したり、窓/ドアが開いたときの通知を受けることができます。

- 機能の詳細は、テレビドアホンの取扱説明書もお読みください。

窓/ドアの開閉状態を確認する (センサー情報を見る)

1 トップ画面で【決定】(メニュー)を押し、
【◀】【▶】で「ドアホン」メニューを開く

2 【▼】【▲】で「センサー情報」を選び、
【決定】を押す

- センサー情報画面が表示されます。

3 下記の操作で各エリアの状態を確認する

【◀】【▶】	エリアを選ぶ
【▼】【▲】	エリア内に6台以上のセンサーがあるとき、ページを切り替える

4 終わったら、【終了】を押す

センサー情報の表示について

- 「圏外」の窓/ドアがあったとき
電波が届いていないため、通信できません。
窓/ドアセンサーの状態を確認してください。
- 「電池切」の窓/ドアがあったとき
窓/ドアセンサーの電池を交換してください。

窓/ドアが開いたとき (報知レベルによる通知動作の違い)

窓/ドアが開くとセンサーが反応し、ドアホン親機で設定した設置エリアの報知レベルに従って動作します。

■ 報知レベルが「高い」センサーが反応したとき^{※1}

子機の動作
音(①)と表示(②)で通知 ①ブルルルルブルルル ②開いた窓やドアの情報
通知時間 約3分
通知音量 「大」(固定)

※1 ドアセンサーが反応した場合は、帰宅時などでドアを開けるときのため、大音量で音が鳴る前に、小さな音でお知らせする「ドア予備報知時間」が設定されています。
(お買い上げ時「3分」、詳細はドアホン親機の「ドア予備報知時間」設定)

■ 報知レベルが「低い」センサーが反応したとき

子機の動作
音(①)と表示(②)で通知 ①ポンポンポンポン ②開いた窓やドアの情報
通知時間 音：約3秒 表示：約10秒
通知音量 「小」 ^{※1}

※1 P.22「呼出音量」の設定で、「切」にすることもできます。

■ 報知レベルが「OFF」のセンサーが反応したとき

音や表示による通知はありませんが、ドアホン親機には反応したセンサーの情報が履歴として残ります。

(詳細はテレビドアホンの取扱説明書を参照)

通知音をすぐに止めたいとき

下記の操作をしてください。

- 窓やドアを閉めても音は止まりません。

1 音を止めたいときに【終了】を押す

お知らせ

- 報知レベルが「高い」センサーの反応通知は、ドアホンやカメラとの通信よりも優先されます。
- ドアホン通話中などにセンサーが反応すると、通話が切れて通知画面に変わります。
- センサー反応中はドアホンからの呼び出しを受けられません。

警報器やコール機器と連携して使う

ドアホン親機が警報器(火災警報器など)やコール機器と連携しているときは、警報器の反応やコール機器から呼び出しがあったとき、子機からも音や表示を出して警報や呼び出しをお知らせすることができます。

- 機能の詳細は、テレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

警報通知やコール通知について

子機の通知動作	
警報器の場合	コール機器の場合
音(①)と表示(②)で通知 ①ピロピロピロピロン ②「警報器が 反応しました」	音(①)と表示(②)で通知 ①プッパー・プッパー ②「コールです」
通知時間	
最大約3分(警報器の反応やコール機器からの呼び出しが終わると終了します)	
通知音量	
「大」(固定)	「大」 ^{※1}

※1 P.22「呼出音量」の設定で、「小」「切」にすることもできます。

通知音をすぐに止めたいとき

下記の操作をしてください。

- 音の鳴り始めから約5秒間は終了できません。

1 音を止めたいときに【終了】を押す

お知らせ

- 警報通知やコール通知は、ドアホンやカメラとの通信よりも優先されます。
- ドアホン通話中などに警報/コール通知があると、通話が切れて通知画面に変わります。
- 警報/コール通知中は、ドアホンからの呼び出しを受けられません。

電気錠やエアコンなどと連携して使う

ドアホン親機が電気錠やエアコンなどと連携しているときは、子機で各機器の操作(施錠/解錠やON/OFF)ができます。

- 機能の詳細は、テレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

電気錠やエアコンなどの機器を操作する

次のときに操作ができます。

- ・子機のトップ画面を表示中
- ・ドアホンやカメラと通話またはモニター中

■ ドアホンやカメラと通話またはモニター中に操作するとき

1 【決定】(メニュー)を押す

2 【F2】(錠・機器)を押す

- 電気錠などが1台の場合は、現在の状態に応じて、施錠/解錠(またはON/OFF)が切り替わります。
- 電気錠などが2台ある場合は、【▼】【▲】で操作する機器を選び、【決定】を押すと、施錠/解錠(またはON/OFF)が切り替わります。

■ トップ画面を表示中に操作するとき

1 上記の手順2の操作を行う

通話中・モニター中の別の呼び出し

通話・モニター中、別の機器からの新たな呼び出し(新着)を受けることができます。

現在の状態	新着の機器	
	ドアホン	カメラ
ドアホンと 通話・モニター中	○	○
カメラと 通話・モニター中	○	○
室内通話中	○	○

■ 新着があったときの動作と操作方法

新着があると、通話・モニター中の子機で、新着した機器(ドアホン/カメラ)の呼出音が鳴ります。また、下記のように画面などでも新着をお知らせします。

上表のいずれかの場面のとき

ドアホンやカメラの新着を表すアイコン^{※1}が画面上部に表示されます。

例) ドアホン通話中にカメラ1から着信



- 新着のドアホンやカメラの映像に切り替えるには、【終了】を押します。

- ・元の通話やモニター映像が終了し、画面が切り替わります。

着信中の別の呼び出し(新着)について

着信中の状態で別の機器から新たな呼び出し(新着)があると、新着した機器の呼出音が鳴り、下記のように動作します。

■ ドアホン着信とカメラ着信が重なったとき

着信の順序に関わらず、ドアホンの着信映像が表示され、カメラの着信はアイコン(■)で表示されます。

- カメラ側をモニターするには、【モニター】を押し、表示された機器選択の画面でカメラを選びます。

■ ドアホン同士またはカメラ同士の着信が重なったとき

それぞれ、との着信が優先になり、画面が切り替わります。

表示に関する機能や設定

映像表示中に

ワイド/ズーム、パン・チルトする

ワイド/ズーム対応のドアホンやカメラをご使用の場合、映像表示中に、ワイド/ズームの切り替えやパン・チルト(表示位置の切り替え)ができます。

操作内容	操作ボタン
ワイド→ズーム	【F2】(ズーム)
ズーム→ワイド	【F2】(ワイド)
パン・チルト (ズーム表示中)	【▼】【▲】【◀】【▶】

お知らせ

- ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。

ドアホンの照明をON/OFFする

照明(LEDライト)付きのドアホンをご使用の場合、ドアホンの映像表示中にON/OFFの操作ができます。

- ご使用のテレビドアホンによって操作できない場合もあります。テレビドアホンの取扱説明書とあわせてお読みください。

1 ドアホンの映像表示中に

- 【決定】(メニュー)を押し、【▼】【▲】で「ドアホン照明」を選び、【決定】を押す

2 【◀】【▶】で「ON」「OFF」を切り替える

ドアホンの逆光補正をする

逆光補正機能付きのドアホンをご使用の場合、ドアホンの映像表示中に逆光補正の操作ができます。

- ご使用のテレビドアホンによって操作できない場合や設定内容が異なる場合もあります。テレビドアホンの取扱説明書とあわせてお読みください。

1 ドアホンの映像表示中に

- 【決定】(メニュー)を押し、【▼】【▲】で「逆光補正」を選び、【決定】を押す

2 【◀】【▶】で設定内容を切り替える

- 設定内容は増設したドアホン親機によって下記のいずれかになります。
 - ・「ON」「OFF」の切り替え
 - ・「-」「OFF」「+」の切り替え

画面の明るさを変える

ドアホンやカメラの映像表示中に操作できます。

1 ドアホンやカメラの映像表示中に

- 【決定】(メニュー)を押し、【▼】【▲】で「明るさ」を選び、【決定】を押す

2 【◀】【▶】で明るさを切り替える

音に関する機能や設定

呼出音量を変える

待機中、下記の呼出音量を変更できます。

- ドアホンやカメラからの呼び出し
- 室内呼び出し
- コール機器からの呼び出し
- 窓／ドアセンサーからの呼び出し
(報知レベル「低い」設定時のみ)

1 トップ画面で【▼】【▲】を押し、音量を変えたい項目を選び、【決定】を押す

2 【▼】【▲】で音量を切り替える

- 「室内呼」以外の音量は、「切」にする(音を消す)こともできます。
- 音量を「切」にするには、が出るまで【▼】を押し続けてください。
(解除するには【▲】を押す)

3 終わったら、【終了】を押す

呼出音の種類を変える (ドアホン・カメラ)

呼出音の種類の変更は、待機中に行います。

ドアホンの場合は呼出音の鳴りかたも変更できます。

1 トップ画面で【決定】(メニュー)を押し、
【◀】【▶】で「設定」メニューを開く

2 【▼】【▲】で「呼出音」を選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で呼出音を変えたい機器を選び、
【決定】を押す

4 選んだ機器に応じて下記の操作をする

■ ドアホンの場合

- ① 【▼】【▲】で音を選び、【決定】を押す
- ② 【▼】【▲】で鳴りかたを選び、【決定】を押す

■ カメラの場合

- 【▼】【▲】で音を選び、【決定】を押す

5 終わったら、【終了】を押す

■ 呼出音の種類

ドアホンからの呼出音		カメラからの呼出音	
音1	ピーンポーン	音A	ピポッ
音2	ピンポーン ピンポーン	音B	ポポポポポポ…
音3	ポーンポーン ポーン	音C	ポーンポーン
音4	ブルルルルルル…	音D	ピーンポーン

室内側の受話音量を変える (ドアホン・カメラ)

ドアホンやカメラとの通話・モニターで室内側に聞こえる音量を変更できます。

- 操作は、ドアホンやカメラとの通話・モニター中に行います。

1 ドアホンやカメラとの通話・モニター中に【決定】(メニュー)を押し、【▼】【▲】で「受話音量」を選び、【決定】を押す

2 【▼】【▲】で音量を切り替える

ドアホン通話で自分の声をボイス チェンジする

来客応対が不安なときなど、ドアホン側へ流す自分の声を低くすることができます。

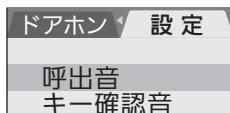
- 操作は、ドアホンとの通話・モニター中に行います。

1 ドアホンとの通話・モニター中に【決定】(メニュー)を押し、【▼】【▲】で「ボイスチェンジ」を選び、【決定】を押す

子機の機能設定(設定方法と設定一覧)

設定変更は、トップ画面から行います。

- 1 トップ画面で【決定】(メニュー)を押し、
【◀】【▶】で「設定」メニューを開く

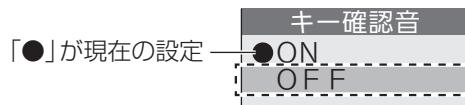


- 2 設定したい機能名を選び、【決定】を押す



- 選んだ機能によってはサブメニューが表示される場合もあります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。

- 3 設定内容を選び、【決定】を押す



- 設定完了後、【終了】を押してください。
- 設定内容の選択時に確認メッセージが表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

機能一覧

機能名など		設定内容など	初期値
● 詳細は (P.22) 呼出音	ドアホン 1~2	(音の種類) : 音1、音2、音3、音4 (鳴りかた) : 押すたび、繰り返し、連打防止	ドアホン1 音1、押すたび ドアホン2 音2、押すたび
	カメラ1~4	音A、音B、音C、音D	音A
キー確認音		ON、OFF ● ボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を出さないようにするには、「OFF」を選びます。	ON
コントラスト		● 映像(背景と被写体)の明暗差が大きいときなど、必要に応じて5段階で調整できます。	レベル3 (標準)
画面の横表示		左手用、右手用 ● 横画面表示(P.9)にするときの子機の持ち手を選びます。 「左手用」: 子機を左手で持ち、右に90度回転させるとき 「右手用」: 子機を右手で持ち、左に90度回転させるとき	右手用
子機増設		● ドアホン親機に登録する(P.11)	—
設定の初期化		● 子機の設定のみをお買い上げ時の状態に戻します。 (ご使用のドアホン親機には登録されたままです)	—

仕様

■本体

電 源	専用ニッケル水素電池 (品番:KX-FAN55) (DC 2.4 V) (650 mAh)
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 173 × 52 × 30 (突起部除く)
質 量 (電池パック含む)	約 160 g
使用環境条件	周囲温度: 0 °C ~ + 40 °C 湿度 : 90 %以下
画面表示	約2.2型 カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
通話方式 (ドアホン通話)	音声交互自動切替方式
使用時間※1	連続使用時間: ・ドアホン通話: 約2時間 待機時間: 約100時間
充電時間	約10時間※2
使用可能距離	約100 m (親機との見通し距離)

※1 充電完了の状態で使用環境温度が20 °Cのとき

※2 ドアホン親機に登録済みで、さらに使用環境温度が20 °C、電源電圧AC100 Vのときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。

別売品

記載した情報は2015年9月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。
価格、ご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	品番
ワイヤレス子機用電池パック	KX-FAN55※1
壁掛け用木ねじ・ワッシャー	KX-AN162※1

※1 お買い上げの販売店にて、お取り寄せとなります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



■充電台

電 源	AC100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	待機時: 約0.25 W 〔子機を充電台から外して いるとき〕 充電時: 約0.65 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約43 × 81 × 76 (突起部除く)
質 量	約 166 g
使用環境条件	周囲温度: 0 °C ~ + 40 °C 湿度 : 90 %以下

困ったとき

本書に記載した以外の症状については、テレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

ドアホンの映像表示について

人の顔が暗く映る

- ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。
→ 逆光補正をしてください。(P.21)

映像全体が白っぽい、または黒っぽい

- 明るさの設定は適切ですか?
→ 明るさを調整してください。(P.21)

子機の映像が乱れる(または映像の更新が遅い)

- 子機背面のアンテナ部(P.8)を手で覆っていませんか?
→ アンテナ部から手を離してください。
- 子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物(P.6)がありませんか?
→ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。

来客応答・通話(ドアホン/カメラ/室内通話)

通話が途切れる、または、ほとんど聞こえない

- 自分または通話相手の周りで大きな音をしていると、通話が途切れことがあります。
→ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。ブレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。(P.12)
- 子機背面のアンテナ部(P.8)を手で覆っていませんか?
→ アンテナ部から手を離してください。
- 子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物(P.6)がありませんか?
→ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。

雑音(ハウリング)が聞こえて通話できない

- 通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。
→ 少し離れた場所で通話してください。

呼出音

ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らない

- 呼出音量が「切」になっていませんか?
→ 呼出音量の設定を確認・変更してください。(P.22)
- 子機の電池が切れていませんか?
→ 充電してください。(P.10)

充電

■が点滅し、「ピッピッ」と鳴る

- 電池がなくなりかけています。
→ すぐに充電してください。(P.10)

充電台に置いても充電ランプが点灯しない

- 電源プラグがコンセントから外れていますか?
→ しっかり取り付けてください。
- 充電台に正しく置いていますか?
→ 正しく置いてください。
(充電ランプが赤点灯します)
- 電池パックが新品、または電池が切れていますか?
→ 数分間、充電台に置いたままにしてください。

充電時間が長い(約10時間充電しても充電ランプが消灯しない)

- 次の場合は、充電完了までの時間が長くなります。
 - 充電の途中で、子機を使用したとき
 - 使用環境温度が20℃より低いときや、電源電圧がAC100Vより低いとき
 - 子機に「■X」が表示されているとき
→ ドアホン親機の電源が入っていることを確認し、子機の電波表示が「■」になるまで、ドアホン親機に近づけて充電してください。

充電完了まで充電しても、2、3回使うと■が点滅する

- 電池パックの寿命です。
→ 交換してください。(P.10)

子機、充電台が温かい

- 異常ではありません。(夏は冬に比べて少し熱く感じことがあります)
→ 非常に熱いときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

その他

正しく操作しても動かない、動作がおかしい

- 直らないときは、電池パックを入れ直してください。(リセット)
登録した設定内容などは消えません。

子機にだけ下記の通知がこない

- ・ カメラが反応したとき
- ・ 窓 / ドアセンサーが反応したとき
- ・ 警報器やコール機器が反応したとき

- 子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？(P.6)
⇒ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。
- 子機の電池が切れていませんか？
⇒ 充電してください。(P.10)

設定内容を元(お買い上げ時の状態)に戻したい

- 「設定の初期化」をしてください。(P.23)

こんな表示が出たら

コード番号(U●●)付きのメッセージが出たときはコード番号で検索してください。コード番号なしのメッセージは、「その他の表示(コード番号なし)」欄に記載しています。

- 記載したコード番号や表示の一覧は、お問い合わせの多いものなどを抜粋したものです。記載以外のコード番号や表示が出ることもあります。

コード番号の表示(U6●●)

表示	原因と対応
U601	ドアホン親機への登録に失敗しました。 登録操作をやり直してください。 (P.11)
U652	次のような理由で、カメラとの通信ができない、または通信できないカメラがあります。 <ul style="list-style-type: none">カメラの電源が入っていないドアホン親機の電波がカメラに届いていない
U654	➔ カメラの電源やドアホン親機との電波状態を確認し、適切な処置をしてください。
U655	
U661	子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物(P.6)がありますか? ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。

その他の表示(コード番号なし)

着信中の機器があります

この子機では「鳴らない」設定です

他の機器あてにお客様です

この子機では「鳴らない」設定です

原因と 対応

ドアホン親機の「鳴り分け」設定で、本機では鳴らない設定にしたドアホンやカメラから着信中です。
➔ 本機では応答できません。

◆閉じていないセンサーがあります

センサー情報画面で確認してください

原因と 対応

くらしモードの切り替えで、窓/ドアセンサーの報知レベルが「OFF」以外になったとき、下記のいずれかの理由で報知できない窓/ドアセンサーがあると、表示されます。

- 開いている窓/ドアがある、電池切れ、圏外
- ➔ 表示に従ってセンサー情報画面(P.18)を確認し、適切な処置をしてください。

ご相談の前に

- ① 25~27ページの「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
 ② ホームページの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。
<http://panasonic.jp/com/support/tvdfon>

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレスモニター子機
品 番	VL-WD613
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談の際は、本機およびご使用のドアホン親機に表示されている品番もお伝えください。

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**保証期間：お買い上げ日から本体1年間**

ただし、電池パックは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、ワイヤレスモニター子機の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…**●修理に関するご相談は…****【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】**

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。



お 願 い

- 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼する前に、P.7「修理・譲渡・廃棄・返却するとき」を必ずお読みください。

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかげください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稻村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川15丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市中央区神道寺2丁目7-1
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉢2丁目266番地
中部地区	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)255-5784	岐阜市西河渡3丁目73
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
近畿地区	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	東大阪市長田東1丁目3-12
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上荒田町27-4
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 0515

さくいん

あ 行

明るさ設定	15, 21
アンテナ部	8
液晶ディスプレイ	8
お手入れ	7
音量を変える	
●受話音量	22
●呼出音量	22
●再生音量	15

か 行

画像(録画)	
●再生	14
●保護／保護解除	15
●消去	15
壁掛け(充電台)	10
カメラ	16
キー確認音	23
逆光補正(ドアホン)	21
くらしモード	16
警報器	19
コール機器	19
子機増設	11

さ 行

再生(録画再生)	14
室内呼	
●室内通話	13
●ドアホン通話の転送	13
充電／充電ランプ	10
修理ご相談窓口	28
受話音量	22
仕様	24
消去(画像消去)	15
照明設定(ドアホン)	21
ズーム表示	21
スピーカー	8
設定の初期化	23
センサー検知(センサー反応)	
●カメラのセンサー	17
●窓／ドアセンサー	18
センサー情報	18
増設→「登録」を参照	
送話口(マイク)	8

た 行

通話転送(ドアホン通話)	13
通話ランプ	8
電気錠	20
電池カバー	8
電池残量	10
電池パック	2, 10
電波状態表示	8
ドアセンサー	18
ドアホン室内呼	13
登録(増設)	11
トップ画面	8

は 行

パン・チルト	21
プレストーク	12
別売品	24
ボイスチェンジ	22
保護／保護解除	15
保証とアフターサービス	28

ま 行

マイク	8
窓／ドアセンサー	18
マルチファンクションキー	8
モニター(様子を見る)	12, 16

や 行

横画面表示	9
呼出音(種類を変える)	22
呼出音量	22

ら 行

リセット (動作がおかしいとき)	26
録画(手動録画)	14, 17
録画の再生	14
録画番号	14

わ 行

ワイド／ズーム	21
ワイド表示	21

機能設定の機能名から 探す

機能設定の機能名をまとめて記載しています。

呼出音	22, 23
キー確認音	23
コントラスト	23
画面の横表示	23
子機増設	11, 23
設定の初期化	23

別売品については 24ページをご覧ください。

- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

本機は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物(または技術)に該当します。
本機を日本国外へ輸出する(技術の提供を含む)場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリー ダイヤル  0120-878-365

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「230#」を押してください。

(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号をご利用 06-6907-1187 ■FAX 0120-878-236
いただけない場合 Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリー ダイヤル  0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

・上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご相談の際は、本機およびご使用のドアホン親機に表示されている品番もお伝えください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検



長年ご使用のワイヤレスモニター子機の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコードが熱を持っている。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、
電源プラグを抜いて、
必ず販売店に点検を
ご相談ください。

- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- 本機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2015



PNQX7443ZA